

大月コンテンポラリーアート 2024

角砂糖の町と裁縫のピストル

9.15 sun - 9.29 sun

OTSUKI CONTEMPORARY ART 2024

SUGAR TOWN AND SEWING PISTOL



高知県といえばカツオのたたき!と思う人は多いはず。高知県は太平洋に面し東西に長く伸びた海岸線の長さは713kmに及びます。その海岸線の西南端にある人口4400人ほどの小さな町、大月町で大月コンテンポラリーアート2024を、町内の文化教育交流拠点COSAで開催します。

大月コンテンポラリーアート展は2022年に始まり今年で3年目になります。今年は、山本直樹・嵯峨美術大学教授と学生さんたち、ユニークな活動で海外での評価も高いアーティストの池田慎さんを招き、「角砂糖の町と裁縫のピストル」と題した展覧会を大月町文化教育交流拠点COSAで行います。角砂糖の大月町は会場に来た人が町並みをつくったり変更したり自由にできます。自分の家や職場や学校を、あるいはお気に入りの場所を自分の手で積み上げたり移動して、みんなで大月町を作りましょう。裁縫のピストルはピストルの部品を一つずつ正確に拡大して、カラフルな布を縫い合わせて作りました。これが兵器の部品からできているとは、言われなければわからない楽しい作品です。ほかに大月町産スルメに刺繍するワークショップ等も行います。

大月町は自然に恵まれロケーションも抜群に良いのですが、四国の端っこにあり都市圏から気軽に来れる距離ではありません。近年ますます過疎化と高齢化が進行し、このままでは20年後に人口が半減すると予測されています。そこで大月町は一次産業の振興

主催：+1art

共催：COSA (大月町)

後援：高知県、公益財団法人高知県文化財団、高知県立美術館
大月町教育委員会、高知新聞社、RKC 高知放送
KSS さんさんテレビ

協力：くろしお芸術協議会

【展覧会名】 大月コンテンポラリーアート 2024
角砂糖の町と裁縫のピストル

【開催日時】 2024年9月15日(日)～29日(日)
AM10時～PM4時 OPEN 金・土・日・月

【会場】 大月町文化教育交流拠点 COSA
高知県幡多郡大月町小才角 350
TEL 0880-75-5262

【アクセス】 宿毛駅から

- ・バスで40分(高知西南交通清水宿毛線「小才角」下車 徒歩7分)
- ・車で30分(R321)

赤い巨大鉛筆を目印に!

COSAは大月町の南に位置します。大月町内の国道321号線沿いには高さが2～3mの赤い鉛筆が数ヶ所に立っています。



オープニング

15 日

ワークショップ 9/15 PM 2~4 時
 ・角砂糖で大月町をつくる / 山本直樹
 ・スルメに刺繍して作品にする / 池田 慎

音楽会 9/15 PM 4~5 時
 ・アイルランド音楽 / グレイグース



国内産スルメ
(布、糸 他)



16 月

17 火

18 水

19 木

20 金

21 土

22 日

23 月

ワークショップ 9/23 PM 2~4 時 ・日用品を引き伸ばす / 池田 慎



(紙箱)

24 火

25 水

26 木

27 金

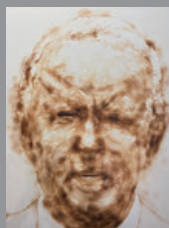
28 土

29 日



「角砂糖で大月町をつくる」 / 山本直樹

海や山に囲まれ、その間に人家が点在している大月町。
 甘く、気持ちをほっこりさせる角砂糖で、町民の皆さんと一緒に
 まちを作ります。どのようなかたちになるでしょうか？



炙り出しBiden
(砂糖、水、紙)

「face-2-face」 / 山本直樹

ようやくコロナ禍が落ち着いてきた昨今。気がつくとなりの人
 の顔がどんなだったか、よくわからないことに気づきました。
 そこで、お互いの顔を紙に砂糖水で描く「あぶり出し」をします。
 楽しくおしゃべりしながらお絵描きをします。

「ふわふわガバメント」 / 池田 慎

COSA資料室にて、展示と公開制作を行います。

「ふわふわガバメント」は、通称コルトガバメントと呼ばれる拳銃を、布、綿、フェルトなどで部品から作り直して行く作品です。
 柔らかくふわふわしたそれらで人を傷つける事は難しい様に
 思われます。しかしその形は人を正確に殺傷するために考え
 られた形です。

危険と安全、暴力の在りかなど、それらは意外とふわふわとし
 て捉え処がないのかもしれない。



ふわふわガバメント各パーツ
(布、綿、フェルト 他)

【参加アーティスト】

- ・山本 直樹 [詳細はp3に記載](#)
- ・池田 慎 [詳細はp3に記載](#)

嵯峨美術大学学生
 滞在制作 展示・ワークショップ(COSA、他)

- ・北村 侑紀佳(大学院2年)
- ・中西 千浩(大学院1年)
- ・陳 康(大学院1年)
- ・高砂 海斗(大学4年)
- ・中島 攻(大学4年)
- ・西郡 秀朗(大学4年)

【サテライト会場】大月町役場 1F ロビー

角砂糖製の町役場 / 山本直樹

*角砂糖でつくった作品を展示

役場の開館時間 平日 AM 9 - PM 5

【関連イベント】

マララプロジェクト 2024
 ワークショップ「彫刻にふれよう！」

(野口ちとせ、嵯峨美術大学有志)

日時 9/8(日) AM 10~12 時

*小雨決行

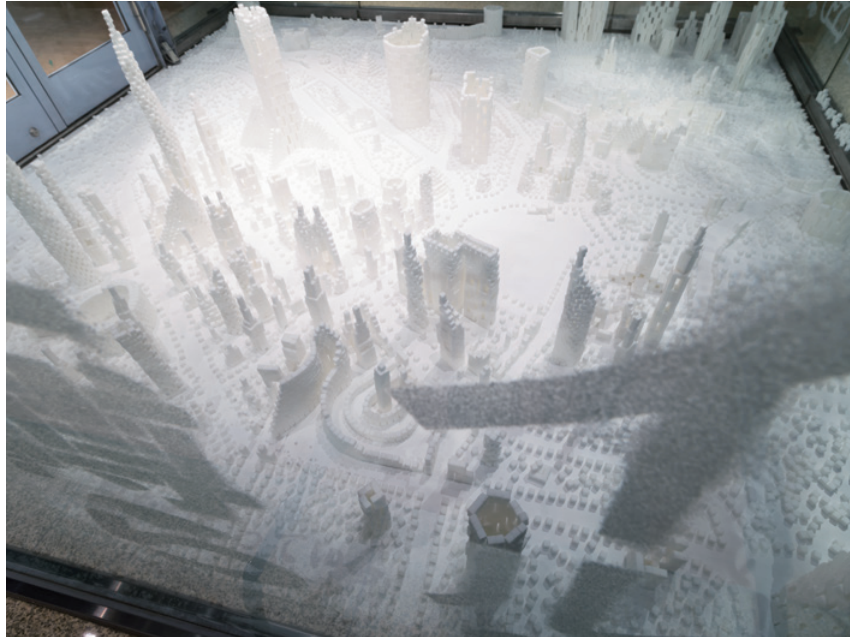
会場 道の駅 ふれあいパーク・大月

山本直樹

YAMAMOTO Naoki

- 角砂糖の町 など

滞在制作 展示・ワークショップ (会場: COSA、大月町役場)



Miss Ileの見た風景 部分(角砂糖)



1963年 新潟県生まれ

1991年 東京造形大学造形学部美術学科絵画 卒業。

感覚、社会、記憶をテーマに、日々浮かんでは消えていく社会状況を砂糖、飴、チョコレートなどの味覚媒体や香り、匂いの物質を使ってインスタレーションやドローイングなどの作品を制作/発表する。近年の個展に「琥珀の刻」(2022 +1art/大阪)、グループ展に「どこで何が再び出会うのか」(2023 清州市立美術館 梧倉館/韓国) などがある。

第20回岡本太郎現代芸術賞岡本太郎賞受賞(2016)。現在、嵯峨美術大学芸術学部造形学科油画・版画領域教授。

池田慎

IKEDA Shin

- 裁縫のピストル など

公開制作 展示・ワークショップ (会場: COSA)



ふわふわガバメント (布、糸、他)
photo: @uichiro tamura QG&S



1974年 大阪生まれ。

1998年 大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒業。

身の回りにある日用品を縫ったり編んだりして作品にしています。冗談交じりの軽口のようなものでありたいと思っています。思い出し笑いをして、その後少し冷たく感じて頂ければ幸いです。

近年の個展に「超ひも理論」(2024 cumonos/大阪)、「テレストリアルポップ」展(2020 西脇市岡之山美術館アトリエ/兵庫)、グループ展に 夏日大作戦 SUMMER WARS伊日芸術計画(2021 YIRI ARTS(台湾)、手にとる展(2023 +1art/大阪)などがある。